

《第24回大会 ルール等の確認事項》

■ダブルス■

【予選の競技方法】

- (1) 各ブロック○チームによるリーグ戦とし、4セット行い、総得点の多いチームを勝ちとする。
- (2) 4セット終了時点で同点の場合は、延長戦を1セット行い、勝敗を決定する。その際、延長戦の得点は得失点差に加えない。(決勝も同様)
延長戦の先攻は、試合開始時の先攻チームと同様とする。
- (3) 各予選リーグから、各ブロック上位○チームと各ブロック○位チームのうち、成績上位○チームがワイルドカードとして決勝リーグへ進出する。
順位は、①勝敗 ②得失点差 ③対戦成績 ④抽選の順で決する。
- (4) ワイルドカードは①勝敗 ②得失点差 ③総得点 ④抽選の順で決する。

【決勝の競技方法】

- (1) 予選を通過したチームによる決勝トーナメントとする。
- (2) 決勝トーナメントの組み合わせは、各ブロックごとの順位によって決定とする。(事前に大会事務局でトーナメント表に振り分けします)
- (3) 決勝トーナメントは、各予選リーグを勝ち抜いた16チーム(各ブロック上位○チームと各ブロック○位のうち成績上位ワイルドカード○チーム)により実施する。
- (4) 決勝トーナメントは、予選と同様に4セットを行い、総得点の多いチームを勝ちとする。

【審判について】

- (1) 審判は参加チームが行う。ただし、各コートに競技役員が配置されているので、やむを得ない理由により審判を行うことができない場合は本部に申し出ること。
- (2) 審判よりも出場する試合を優先するので、審判中に別のコートで自チームの試合が開始される場合は、競技役員に申し出て、審判を交代すること。

【その他の確認事項】

- (1) 試合順の時間はあくまでも目安であり、各試合の進行状況を確認し、試合開始前にはコート付近で待機していること。
- (2) 試合前に先攻または後攻を決めてから整列すること。(ジャンケンに勝ったチームが選択できる。)
- (3) 送球順は自由とするが、1人2投を必ず投球すること。
- (4) 送球時、送球の妨げになる未送球のフロッカーを移動することができる。
- (5) 試合中に返球されたアウトフロッカーの処理を行うこと。
- (6) コート内での指示はチーム代表1名が速やかに行うこと。
- (7) チーム代表者は、必要に応じて距離の計測を審判に依頼することができる。
- (8) 距離の計測には、両チームの代表1名が立ち会うこと。
- (9) 試合終了後、チーム代表者は得点の確認を行うこと。
- (10) 不戦勝の場合は、4対0とする。
- (11) 隣のコートフロッカーによって、自分たちのフロッカーが動いてしまった場合は、そのセットをノーカウントとし、セットの最初からやり直しとする。
- (12) プレー中は、コート脇に立たないこと。
- (13) 開会式前の送球練習は不可とし、各チーム1試合目の時に送球練習を行うこと。

《第24回大会 ルール等の確認事項》

■ フォース ■

【予選の競技方法】

- (1) 各ブロック○チームによるリーグ戦とし、4セット行い、総得点の多いチームを勝ちとする。
- (2) 4セット終了時点で同点の場合は、延長戦を1セット行い、勝敗を決定する。その際、延長戦の得点は得失点差に加えない。(決勝も同様)
延長戦の先攻は、試合開始時の先攻チームと同様とする。
- (3) 各予選リーグから、各ブロック上位○チームと各ブロック○位チームのうち、成績上位○チームがワイルドカードとして決勝トーナメントへ進出する順位は、①勝敗 ②得失点差 ③対戦成績 ④抽選の順で決する。
- (4) ワイルドカードは①勝敗 ②得失点差 ③総得点 ④抽選の順で決する。

【決勝の競技方法】

- (1) 予選を通過したチームによる決勝トーナメントとする。
- (2) 決勝トーナメントの組み合わせは、各ブロックごとの順位によって決定とする。(事前に大会事務局でトーナメント表に振り分けします)
- (3) 決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち抜いた16チーム(各ブロック上位○チームと各ブロック○位のうち成績上位○チームがワイルドカード)により実施する。
- (4) 決勝トーナメントは、予選と同様に4セットを行い、総得点の多いチームを勝ちとする。

【審判について】

- (1) 審判は参加チームが行う。ただし、各コートに競技役員が配置されているので、やむを得ない理由により審判を行うことができない場合は本部に申し出ること。
- (2) 審判よりも出場する試合を優先するので、審判中に別のコートで自チームの試合が開始される場合は、競技役員に申し出て、審判を交代すること。

【その他の確認事項】

- (1) 試合順の時間はあくまでも目安であり、各試合の進行状況を確認し、試合開始前にはコート付近で待機していること。
- (2) 試合前に先攻または後攻を決めてから整列すること。(ジャンケンに勝ったチームが選択できる。)
- (3) 送球順は自由とするが、1人1投を必ず投球すること。
- (4) 送球時、送球の妨げになる未送球のフロッカーを移動することができる。
- (5) 試合中に返球されたアウトフロッカーの処理を行うこと。
- (6) コート内での指示はチーム代表1名が速やかに行うこと。
- (7) チーム代表者は、必要に応じて距離の計測を審判に依頼することができる。
- (8) 距離の計測には、両チームの代表1名が立ち会うこと。
- (9) 試合終了後、チーム代表者は得点の確認を行うこと。
- (10) 不戦勝の場合は、4対0とする。
- (11) 隣のコートフロッカーによって、自分たちのフロッカーが動いてしまった場合は、そのセットをノーカウントとし、セットの最初からやり直しとする。
- (12) プレー中は、コート脇に立たないこと。
- (13) 開会式前の送球練習は不可とし、各チーム1試合目の時に送球練習を行うこと。

《大会の注意事項について》

※大会前に下記の注意事項を必ずご確認ください。

1. 大会日程について

- ・開館及び受付開始時間は8時となっております。8時までは、体育館に入らないようにお願いいたします。
- ・8時20分から「大会運営協力者打合せ」を行いますので、アナウンスの指示に従い、お集まり願います。
- ・8時30分から「チーム代表者会議」を行いますので、アナウンスの指示に従い、お集まり願います。

※詳細につきましては、開催要項をご確認ください。

2. 対戦組合せについて

- ・決勝トーナメントも予選リーグと同様に、事前に大会事務局で振り分けします。よって、予選リーグ後の抽選は行いません。

3. 送球練習について

- ・昨年と同様に各チーム1試合目の時に、それぞれ送球練習を行います。よって、開会式前の送球練習はできません。（詳細は別紙をご覧ください）

【送球練習までの流れ】

- (1) 開会式終了後、各チーム予選ブロックのコートに移動します。
- (2) 自分のチームの1試合目開始前に送球練習をします。
※送球練習は、1試合目のみ行い、2試合目以降は送球練習の時間はありません。
- (3) 送球練習が終了したら、試合を開始します。

4. 開催要項及びルール等の確認事項について

- ・大会前に開催要項及びルール等の確認事項を必ずご確認ください。

重要!

～参加者の皆さんへのお願い～ 大会当日の送球練習について

大会当日の送球練習について、以下のとおり行いますのでご確認願います。

☆送球練習について☆

開会式前の送球練習はできません。

(毎年、早く来場して練習をしていた方は、申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします)

送球練習は、各チーム1試合目の時に行います。

- ・ダブルスの場合は、1人赤色のフロッカーと黄色のフロッカー各2投ずつ送球練習を行うことができます。
- ・フォースの場合は、1人赤色のフロッカーと黄色のフロッカー各1投ずつ送球練習を行うことができます。
- ・ターゲットを使用しての練習もできます。
- ・どのコートで練習するか等は当日のプログラム及び「代表者会議」でご説明いたします。

<理由について>

- ・大会用に調整した、用具のコンディションを保つため
～良い状態の用具で、皆さんに楽しんでプレイしていただくため。
- ・全チーム均等に練習ができるようにするため